



みんなで家庭教育！

私もこうやって大切に育ててもらったんだな…

夏休み中、中学生・高校生を対象に子育て理解講座「ドキドキ赤ちゃんふれあい体験」を開催しました。乳児健診にみえた親子の皆さんのご協力のもと、赤ちゃんを抱かせてもらったり、子育てについての話を聞かせていただいたりしました。コロナ禍で、4年ぶりの開催ということもあり、申し込み初日に定員を超える応募がありました。残念ながら一日は台風で中止となってしまいましたが、3日間で合計31名もの生徒さんが参加してくれました。

赤ちゃんの生命力や家族の愛情、子育てに対するサポートの大切さなど、短い時間でしたが、生徒さん達は積極的に多くのことを学んでくれました。



ドキドキ赤ちゃんふれあい体験



講義 第一部 保健師から、乳児の発達と特徴についてお話を聞きました。その後、赤ちゃん人形を使って抱っここの練習をしました。サポーターの保育士さんから、赤ちゃんの抱き方を丁寧に教えていただきました。



命のはじまりは、ペン先でつけた印ほどの小ささ。そこから約10ヶ月間、お母さんのお腹の中で育って生まれてきます。



赤ちゃんの発達について、カードを並べながら考えました。寝返りとお座りって、どっちが先なのかなあ。



首に手を添えて、優しく抱っこをします。赤ちゃん人形で練習です。

赤ちゃんとのふれあい 保健センターにみえた親子さんと対面し、赤ちゃんとおふれあいました。お母さん方に質問をし、子育てについてのお話を聞きました。



赤ちゃんって、やわらかいののに力強い！命のあたたかさを感じました。



夜泣きやオムツ替え、お世話は大変だけど、日々成長が嬉しいそうです。



赤ちゃんの表情がくるくる変わって見ているだけで幸せになります。

講義 第二部 生後7か月頃の赤ちゃんが食べる離乳食の試食と、妊婦体験をしました。



離乳食はトロトロで、素材の味を生かしています。



お腹が重く、バランスがとりにくいです。足元に手を伸ばすのも大変！

生徒さんの感想(一部抜粋)

- ◎どの親も赤ちゃんを見る時に優しい目で見守っていて、その赤ちゃんを見ている他の人もみんなが優しい目になっているから、赤ちゃんには周りの人を幸せにする力があると思いました。子育てはとても大変だけど、楽しくて幸せな時間だということを、お世話をしているお母さんから学びました。
- ◎お母さんは赤ちゃんの事をとても大切にしているなど感じました。お母さんだけではなくて、お父さんも育休をとったりして協力し合っていることがすごいと思います。自分が思う何倍も可愛かったけれど、泣いたりオムツを替えたりと赤ちゃんのお世話は想像していたより大変そうで、親ってすごいんだなと思いました。
- ◎赤ちゃんは言葉にできない分、表情を見てコミュニケーションをとることができました。うれしいこともあるけれど、突然泣き出してしまう大変さもあるので、目が離せないと思います。私がふれあった赤ちゃんは人が好きで、私が笑うと笑い返してくれたり、話しかけると返事を返してくれたりして、とてもかわいかったです。子育ては一人では難しい部分もあるので、協力して赤ちゃんが元気に成長してほしいと思いました。
- ◎お母さんに抱っこされるとすぐに泣き止む赤ちゃんを見て、やっぱり親子というのは小さいころから信頼し合っているんだなと思いました。自分にもこんな頃があったのだと思うと、ここまで育ててくれた両親に感謝だし、その頃について、色々聞いてみたいと思いました。
- ◎赤ちゃんの表情が思っていたよりもころころと変わったので、びっくりしました。手や足、体の全部がぶくぶくして、触ったらふわふわで、触れているだけで幸せになりました。お母さんはつわりが大変だったけれど、お腹の中で赤ちゃんが動いた時はうれしかったと言っていたので、大変なこともうれしいこともたくさんあるんだなと思いました。
- ◎赤ちゃんやお母さんとふれあい、すごく命の尊さを感じました。お母さんが赤ちゃんを愛おしそうに見つめていたから、私も幸せな気持ちになりました。親にこんなに大切に育てられたと思うと、心が温かくなるし、感謝しないといけないなあと思いました。人は誰かに大切にされながら生きていることを実感したので、家族や友達を大切にしていきたいです。

赤ちゃんのお母さんより(一部抜粋)

- 赤ちゃんと積極的に関わってくれて、ありがとうございました。短い時間でしたが、我が子にとっても良い体験となりました。自分の将来を決めていく中で、中学生、高校生みなさんも多くの経験を積んで、自分の道をじっくり考えながら進み続けてください。応援しています。
- 抱っこしてもらった時に泣いてしまっただけで申し訳なかったですが、めげずに抱っこしてくれてありがとうございました!
- 家族以外の人に可愛がられている我が子を見て、より愛おしい気持ちがわいてきました。赤ちゃんとおふれあう中で感じた、小さな命の愛おしさ、命の尊さを大人になっても忘れないでほしいです。
- 普段関わることのない赤ちゃんとおふれあうことで、新しい気づきや感じたことがあったと思います。今後も進んで接してほしいと思います。とても良い機会になりました。可愛がってくれてありがとう。

「赤ちゃんってふわふわであたたかい。小さいけど、しっかり生きているんだな。」

「自分もこうやって大切に育ててもらったと思うと、家族に感謝です。」「子育ては大変。支え合うことが大事だと思った。」

体験後に語ってくれた生徒さんの言葉です。中には、保育士、保健師、栄養士等、乳児の健全な成長を願って働く職業について知り、自身の進路について考えを深める子もいました。コロナ禍という大変な時代に思春期を過ごし、活動を制限されながら、さまざまな思いや悩みを抱えている年代の子どもたちが、今回の体験を通し、目を輝かせてまっすぐに命に向き合う姿を見て、とても幸せな気持ちになりました。

子育てをしていると、日々の生活に追われて、子どもを授かったときの気持ちや我が子が誕生したときの気持ちを忘れているときがあります。一つひとつの出来事に一喜一憂しながら、子どもの成長と共に、親として育てられてきたんですね。

「産まれてきてくれてありがとう。」「そのままのあなたが大切だよ。」そんな言葉を伝えて、私たち親も、子どもとまっすぐに向き合っていきたいですね。

～「可児市子育てまなび講座」のご案内～



子育て中の保護者、子育てに関心のある方を対象に、今学んでおきたい内容、子育てに役立つ内容を学ぶことができます。

会場:可児市福祉センター 大ホール 時間:10:00~11:30(受付9:40) 参加費:無料

申込みフォームはこちら↓

☆10月30日(月)「家庭で伝える性教育」健康増進課 助産師 山本 ちひろ 氏

☆11月20日(月)「安全なネット利用のために」教育研究所 指導主事 古野 寿 氏

☆11月29日(水)「いのちのふれ愛教育」こども応援センターばあむ 臨床心理士 鬼頭 拡美 氏

☆12月11日(月)「子どもの心に関する講座」可児市スクールカウンセラー 川原 聡 氏



可児市役所 子育て支援課 子育て応援係 脇田 知里
電話:62-1111(内線 5545) FAX:66-1005
E-mail:kosodate@city.kani.lg.jp

